

講義名称	日商簿記試験対策 I	担当教員名	掛川 康晴
科目群	資格 (QUL)		
科目区分等	商業 CA5・6 DI3・4	単 位	2
対象学年次	1年・春学期	ナンバリング	QUL131

授業のキーワード	日商簿記試験対策、商業簿記
授業の概要	簿記検定のニーズは、企業アンケートでもトップクラスにあり、ビジネス全般に渡ってニーズのある簿記検定2級の合格を目標に学んでいきます。日商簿記3級合格又は同等の知識があることが望ましくなります。
期待される学習成果 (目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・日商簿記3級商業簿記の復習と2級の基礎項目について学びます。 ・簿記だけではなく、企業で発生する取引についての知識も身に付きます。

授業展開

回	テーマ	内 容
1	簿記一巡の手続	授業のオリエンテーションと簿記の基礎から簿記の一巡について学習します。
2	財務諸表	企業の作成する貸借対照表と損益計算書(報告式)について学習します。
3	現金預金	現金及び預金と銀行勘定調整表について学びます。
4	商品売買①	3級の復習を行い、三分法、売上原価対立法などの処理方法を学習します。
5	商品売買②	3級の復習を行い、値引、割引と割戻、棚卸減耗、商品評価損などの処理について学習します。
6	債権債務①	クレジット売掛金・手形の処理①を学習します。
7	債権債務②	手形の処理②、電子記録債権・債務について学習します。
8	有価証券①	有価証券の分類、売買目的有価証券、満期保有債券について学習します。
9	有価証券②	子会社株式、その他有価証券について学習します。
10	固定資産①	固定資産の分類、有形固定資産の処理などについて学習します。
11	固定資産②	無形固定資産、投資その他の資産について学習します。
12	固定資産③	固定資産の圧縮記帳について学習します。
13	引当金	2級範囲の引当金のうち貸倒引当金など主要な引当金を学習します。
14	収益と費用の認識基準	仕入や売上の認識基準について学習します。
15	純資産会計	株式会社の設立や開業の処理などについて学習し、授業の後半で今までの復習をおこないます。

定期試験	期末試験を行います。授業の中で解いた問題や指定した問題を中心に出题します。
授業時間外学習	<ul style="list-style-type: none"> ・授業で行った範囲の問題を次の時間までに各自で解きます。 ・検定取得希望の学生には、授業時間内で出来ない内容は映像講座などでフォロー
評価方法	定期試験70% 授業貢献度30%で評価します。
使用する教科書(必ず購入してください)	・『わかるから出来る!日商簿記2級基本テキスト』掛川康晴(デザインエッグ出版)
参考文献	<ul style="list-style-type: none"> ・『わかるから出来る!日商簿記2級基本問題集』掛川康晴(デザインエッグ出版) ・検定試験模擬問題集